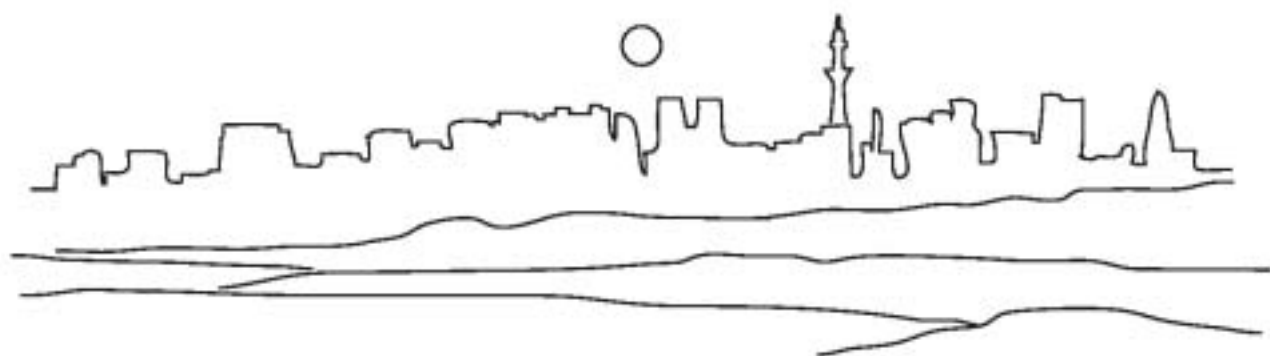


日本環境会議

Japan Environmental Council(JEC)

第28回大会

環境政策・地域づくりの新たな地平をひらく
— 首都東京からの発信 —



- 日時：2011年7月2日(土)、3日(日)
- 会場：東京経済大学 国分寺キャンパス2号館
(東京都国分寺市南町1-7-34 裏面地図参照)
- 参加費：無料(懇親会参加費は4,000円)

プログラム:

7月2日(土)	13:30	開場(13:00~JEC理事会開催)	
	14:00	開会セレモニー	
	14:30	分科会(I)	●第1分科会「持続可能で低炭素な地域社会へ——東京イニシアティブ」
			●第2分科会「公共事業をどう変えるか？」
			●第3分科会「日本の農業・農村2050—持続可能な農業・農村の再構築をめざして」
	17:10		
	17:30	懇親会	
<hr/>			
7月3日(日)	9:30	受付開始	
	10:00	分科会(II)	●第4分科会「マンション問題と都市景観」
			●第5分科会「首都圏の一般廃棄物処理とリサイクル問題」
			●第6分科会「首都圏におけるアスベスト問題」
			●第7分科会「首都圏における道路公害と道路建設問題」
	12:00		
	13:00		
		JEC 会員総会	
	13:50		
	14:00		
		学術シンポジウム「地域再生 これからの10年を考える」(*詳細裏面)	
	17:30		

主催：日本環境会議(JEC)・JEC 東京大会実行委員会

後援：日本弁護士連合会、日本生活協同組合連合会、日本自然保護協会、全国町並み保存連盟

「地域再生 これからの10年を考える」

都心から郊外にまで延々と続くコンクリートで覆われた巨大都市・東京。

東日本大震災を目の当たりして、あらためて高層ビル群に囲まれて住む人々、巨大な団地の中に住む人々、そして密集地に住む人々が、安全に暮らし、そして自然と共生する維持可能なまちづくりを追求することは緊急の課題である。

都市内部の、そして都市近郊の自然をどのように守り、維持・再生させていくか。都市市民の安全で人間らしい暮らしを取り戻す場として、そして循環型社会を形成する場として、小地域あるいは広域の社会的ネットワークをどのように構築するのか。東京圏に接する農村地域との連携をどのように考えるか。

本シンポジウムは、このようなく東京再生のための地域づくりを、パネリストと共に考えていく。

プログラム：

●特別講演

「Environmental Policy in the Context of Climate Change:
Taiwan's Challenges and Cooperation Opportunities with Japan」(通訳あり)

講師：Dr.Wen-Yan Chiau (邱文彦 博士)

(台湾環境省政務副大臣、国立台湾海洋大学教授)



●基調講演

「都市は農村なしには生きられない —— 大震災後の日本再生に新たな構想力を —— 」

講師：保母武彦氏 (島根大学名誉教授)



●パネルディスカッション

テーマ：「地域再生 これからの10年を考える」

パネラー：藤井絢子 (菜の花プロジェクトネットワーク) —— バイオエネルギーと地域資源循環サイクル
安藤聡彦 (埼玉大学) —— 都市内・近郊の自然の復権と都市市民
尾崎寛直 (東京経済大学) —— 過密道路の公害による健康問題と環境再生
窪田亜矢 (東京大学) —— 福祉・環境の新たなネットワークによる居住圏の再構築
寺西俊一 (一橋大学) —— 大都市と農村の維持可能な関係構築

司会：大久保規子 (大阪大学)、岡本雅美 (元日本大学教授)

日時：2011年7月3日(日) 14:00~17:30

会場：東京経済大学 国分寺キャンパス2号館 B301
(東京都国分寺市南町1-7-34 下地図参照)

参加費：無料

主催：東京経済大学学術研究センター、日本環境会議 (JEC)

■会場 (東京経済大学 国分寺キャンパス) へのアクセス

JR 中央線・西武国分寺線・西武多摩湖線利用

「国分寺」駅下車 徒歩 12分

(「国分寺」駅までは、JR「新宿」駅から特別快速で21分、快速で28分)

※駐車場はございません。お車でお越しの方は近隣の駐車場をご利用下さい。

所在地：東京都国分寺市南町1-7-34



■大会等に関するお問い合わせ

日本環境会議事務局 <http://www.einap.org/jec/>

東京都国立市中2-1 一橋大学大学院経済学研究科 寺西俊一研究室気付 FAX:042-580-8748